

# 式 辞

確かな春の息吹を感じる今日の佳き日、  
今年もまた、無限の可能性を秘めた若者が旅立ちの日を迎えることとなりました。

本日、ここに、ご来賓の皆様、並びに卒業生保護者の皆様のご臨席を賜り、多大なる祝福と励ましの中、第七十六回北海道室蘭清水丘高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生のみならず、教職員一同、喜びとするところであります。衷心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、卒業生126名に、卒業証書を無事授与しました。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間、悩みながらも歩みを止めず、仲間と支え合い、自分自身と向き合い続け、積み重ねてきた努力と研鑽に、心から敬意を表します。

皆さんが高校生活を送ったこの3年間は、まさに歴史の転換期でありました。

入学当初、社会にはまだ新型コロナウイルス感染症の影が残り、マスク越しの学校生活や制限のある行事など、当たり前が「当たり前ではない」日々が続いていました。しかし、入学して間もなく、新型コロナは第5類感染症へと変更され、少しずつ日常が戻る中、皆さんは先輩の前例がない状況にもかかわらず、縮小や廃止された行事などを「元に戻す」だけでなく、自分たちの手で新しい学校生活の形を創りあげてきました。

また、絶え間ない技術革新が急速に進み、社会の在り方が大きく変わり始めた時代でもありました。

皆さんが入学した2023年は、今振り返ると「生成AI元年」と呼ばれ、生成AIが一気に世に広まり、急速に進化した3年間でした。初めて生成AIに触れたときに「こんなことができるのか」と驚愕したのも束の間、今では生活の一部となるなど、皆さんはその変化を恐れず、むしろ柔軟に受け入れ、大人以上に、新しい技術を使いこなす力を身につけてきました。そのような3年間を経て、本日、人生の大きな節目である高校卒業の日を迎え、新たなステージへと歩みを進めることとなります。

これまで3年間にも大きな変化があったように、これからは更に先行き不透明で予測困難な時代といわれ、我々を取り巻く環境はこれからも加速度的に変化し、皆さんは、何が起こるか分からない時代を生き抜いていくこととなります。

進化論で知られる自然科学者ダーウィンは、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」と述べています。自身を取り巻く環境が急速に変化する中、生物の世界では、環境に合わせて進化できなかったものは、絶滅の道をたどることになります。人間もまた、社会環境の変化に適応するためには、自分自身が変化するしかありません。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症や、技術革新など、ここにいる大人達の誰もが経験したことのないような大きな変化の波を高校時代に乗り越えてきたたくましい世代です。このことに自信と誇りを持ち、「学び続け、変わり続ける勇気」を持つとともに、単に変化に合わせるだけでなく、自らの手で社会を変えていく気概を持って、世界に羽ばたき、活躍する、まさに一生「清風萬里」をしてほしいと願っています。

そして今日という節目を迎えるまで、皆さんのそばには、いつも支えてくれる人がいたことを忘れないでください。これまで限りなく深い愛情をもって育ててくれたた御両親やご親戚、励まし合った友人、背中を押してくれた先生方などに、今日は感謝の気持ちを、言葉にして伝えてください。

多くの方々からいただいていたご厚情や、清水丘で学んできたことは、いつまでも皆さんの心に残る財産となります。そのような財産を胸に、それぞれの夢の実現を目指して努力を重ね、さらなる飛躍を遂げ、幸せな人生を歩まれることを心より願っています。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。本校入学以来、お子様の健康・生活・進路のことを思い、一日として気の休まる日は無かったことと拝察いたします。

「子どもの名前は、親からの最も短いラブレターである」という言葉を聞いたことがあります。

生命の鼓動、ハートビートを感じ、この世に生を受けたお子様に、全ての思いを託して命名したあの日から、十八年余りの歳月を経て、こうして凜とした姿で巣立っていく我が子を目にされ、胸にこみ上げるものがあるのではないのでしょうか。

これまでのご苦勞に深く敬意を表しますとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに改めて厚くお礼申し上げます。

結びになりますが、今日から室蘭清水丘高校は皆さんの母校であり、心の故郷となります。約2万5千人の心強い同窓生の仲間入りです。どうか折に触れ、後輩達の活躍や母校の発展を見守り、支援していただければ幸いです。

たくましく成長した卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、これからの大いなる活躍や健闘を期待するとともに、本日ご臨席を賜りました皆様のご健勝をご祈念いたしまして、式辞といたします。

令和八年三月一日

北海道室蘭清水丘高等学校長 今 井 真